

常和区自主避難ルール

令和4年12月改定

この自主避難ルールは、令和元年10月の台風19号災害を踏まえて、「自分の命は自分で守る」ために常和区独自に定めたものです。随時改定します。
(数値は目安で避難指示は水位上昇時間、避難時間、目視判断により指示されます)

警戒レベル	区民	自主避難の基準		行政からの情報	
		川沿い・土砂災害特別警戒区域	左記以外の全域	避難情報	気象情報
1	最新情報に注意 災害への心構えを高める			早期注意情報	
2	避難行動の確認 (避難する場所) (避難する方法)	下記の基準値のいずれかに達するおそれがある時、区長が自主避難放送を行う。		大雨洪水 注意報	注意報 (大雨・洪水)
3	★危険な場所から高齢者等は避難 ☆一般区民は避難準備 (家族居場所、非常持出など確認)	雨量(累加) 初谷：150mm 常和：50mm 水位 公民館前：50% 常和橋上：50%	雨量(累加) 初谷：200mm 常和：80mm 水位 公民館前：70% 常和橋上：70%	高齢者等 避難 市から発令	警戒レベル3相当 警報 (大雨・洪水)
4	★危険な場所から全員避難	雨量(累加) 初谷：200mm 常和：80mm 水位 公民館前：70% 常和橋上：70%	雨量(累加) 初谷：300mm 常和：150mm 水位 公民館前：90% 常和橋上：90%	避難指示 市から発令	警戒レベル4相当 土砂災害 警戒情報
5	★命の危険! 直ちに身の安全確保			緊急 安全確保 市から発令	警戒レベル5相当 大雨 特別警報

※危険な場所とは常和区防災マップの田子川沿いの黄緑、黄色区域、赤の土砂災害特別警戒区域(但し、危険を感じたら直ぐ避難)

住民一人ひとりが日頃からしておくこと

【1】避難場所を確認する

あくまでも、安全に移動できる段階で、市の指定避難所・指定緊急避難場所などの安全な場所へ避難することが大原則ですが、遠くまで避難することが危険になった場合は、その場その時の状況で最も安全と思われる場所へ避難しましょう。

安全に移動できるときの避難先

城山小学校、城山保育園、佐久城山児童館、常和区内近所宅

親戚・友人宅等、区内に限らずより安全な場所

* 自主避難を開始する際は班長さんへご連絡ください

遠くまで避難することが危険な状況のときの避難先

記入欄

いつ?

・浸水の中を避難しなければならない場合
・浸水や土砂が迫ってきた場合

どこへ?

・がけや沢、川・用水路から離れた最寄りの高い建物や高台
・自宅の高いところ、斜面から離れた部屋

【2】地域にある洪水・土砂災害の危険場所、避難経路を確認

落ち着いて避難できるように、裏面の常和区防災マップで、自宅周辺の危険箇所や避難経路を確認しておきましょう。この他にも、土砂災害が発生する前に見られる予兆現象として、一般的なものを掲載しましたので、確認しておきましょう。

自主避難の開始

① 住民は、「いつもと違う(洪水・土砂災害につながると思われる)状況」を確認したら、すぐに報告体制に従い報告する。

* 予兆現象など

② 区長は、集まってきた情報が以下の自主避難基準に達したら、自主避難を開始する旨を連絡体制に従い連絡する。

予兆現象を見つけた→自宅避難・屋外避難
道路が冠水している中での野外避難は危険を伴うため
浸水避けなるべく移動距離を短くすることを考える。

報告体制

連絡体制

住民→→班長→→区長
(* 直接報告も可)

区長→→班長→→住民

③ 住民は、自宅周辺の比較的安全と思われる場所へ避難する。すでに道路が冠水しているなど、移動に危険が伴う場合は自宅も含めて、がけや沢から少しでも離れた最寄りの建物の2階以上へ避難する。1人で避難することが困難な方がいる場合は、あわせて避難の支援を行う。

災害に備えて用意しておくもの

●非常時持ち出し袋

- 携帯電話 ○懐中電灯 ○携帯ラジオ ○予備電池・充電器 ○ロープ
- ティッシュ ○マッチ・ローソク ○タオル ○洗面用具 ○携帯トイレ
- ビニール袋 ○飲料水 ○応急医療品 ○下着・衣類 ○体温計
- 非常食(缶詰・レトルト食品・クラッカーなど) ○マスク ○除菌用アルコール

●避難の際役立つもの

- 雨具 ○軍手 ○避難用運動靴・スリッパ ○缶切り・栓抜き
- ヘルメット ○笛 ○足元の安全を確認する棒
- キャンプ用品

●貴重品

- 現金 ○印鑑 ○健康保険証 ○免許証
- 預金通帳 ○権利証書

●人により必要となるもの

- 補聴器 ○常用薬 ○眼鏡・コンタクトレンズ
- ベビー用品 ○生理用品



土砂災害の前ぶれ(予兆現象)に注意しましょう



土砂災害が発生する前には、予兆現象が見られることがあります。大雨が降ったときに次のような状況を見たら、自主避難ルールにしたがって、すぐに避難対応を開始してください。

がけ崩れの発生前には・・・
* がけに割れ目が見える
* がけから小石がばらばら落ちてくる
* がけから水が湧き出ている

土石流の発生前には・・・
* 山鳴りがする
* 急に川の流が濁り、流木が混ざっている
* 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

地すべりの発生前には・・・
* 地面にひび割れができる
* 斜面から水が噴き出す
* 沢や井戸の水が濁る

この他にも・・・
* 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
* もの腐ったような臭い(腐葉土・下肥の臭い)がする
* 小動物が異常行動(騒ぐなど)をとる

など



～～情報収集～～

テレビ・ラジオ・インターネット等で気象情報や災害情報等の情報収集を行いましょう。

★お役立ち防災情報★

- ◎ 気象庁防災情報
- ◎ 長野県ため池監視システム
- ◎ 長野県河川砂防情報ステーション
- ◎ 気象庁土砂キキクル
- ◎ 国土交通省防災情報提供センター
- ◎ NHKあなたの天気防災